



社協シンボルマーク

すまあい

第6号

平成19年1月26日発行

発行/ 志布志市社会福祉協議会
志布志市志布町志布志3222-1(志布志市健康福祉センター内)
TEL: 472-1800 FAX: 472-1593



(被表彰者の方々との記念撮影, コミュニティセンター志布志市文化会館にて)

第1回志布志市社会福祉大会を開催!

目次

- * 新年のごあいさつ (会長、副会長)..... P2
- * ひとり金婚式開催..... P3
- * 赤い羽根共同募金街頭募金を実施
- * 第16回共同募金チャリティゲートボール大会開催
- * 第1回志布志市社会福祉大会を開催.....P4
- * NPO法人三方良を紹介します.....P8
- * かんたんレシッピー!
- * シリーズ健康の泉..... P9
- * クイズ“ふれあい”
- * 心配ごと相談日程

- * 輪多市 (私) のボランティア..... P10
- ・ バリアフリー体験学習～泰野小学校～
- ・ ほったた落ちそう!～野神サロン～
- ・ まごころお届けします!～絵手紙～
- ・ 朗読ボランティア『鈴 (りん)』始動!
- ・ 年の瀬の贈り物
- * 寄附金・義援金ありがとうございます..... P12
- * 生活福祉資金貸付事業について
- * 編集後記



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

新年の

ごあいさつ

会長 上村 環



二〇〇七年の新年を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

平成十八年は合併により志布志市の誕生と同時に志布志市社会福祉協議会も誕生しました記念すべき年でもあります。

新たな役員・職員体制のもと、事業計画に沿って各種事業に取り組んでまいりましたが、市民の皆様におかれましては志布志市社会福祉協議会の福祉事業遂行に多大なるご協力、ご理解を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、少子・高齢化の進展等社会環境が変化する中、社会福祉を取り巻く状況につきましては、三位一体の改革や行財政改革の進行、また、昨年四月に施行された改正介護保険法や障害者自立支援法など社会福祉

諸制度に関する改革も相次いで行われており、今後の社協活動を推進するに当たって厳しい状況が続くことが予想されます。

それだけに、志布志市社会福祉協議会は組織体制を整備して、住民参加による福祉活動やボランティア活動、利用者の立場に立った介護保険事業などを一層進め、市民の福祉需要にきめ細かく対応していく必要があります。

平成十九年も市民のご期待に沿えるよう、関係機関、団体等との連携を深めながら、これまで実施してきた福祉サービスの見直しや拡充を始め、誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らしていけるような福祉のまちづくりを目指して、社協らしい、公共性の高いサービスの展開など、地域福祉の推進役として役員員一同一致団結して取り組んでまいります。市民の皆様方もなお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

亥の年が皆様に良い一年であることを祈念いたしまして年頭のあいさつといたします。



副会長 吉岡 道德



新年明けましておめでとうございます。

穏やかな二〇〇七年の幕開けとともに、今年にかけの期待や希望も大きくふくらんで、すがすがしい気分になります。

市民の皆様におかれましては健やかに新たな年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は事業推進並びに運営に格別なるご厚情を賜り、衷心からお礼を申し上げます。

福祉を取り巻く環境は、いま少子・高齢化が急速に進行し、家庭機能や地域社会の機能が変化し、また団塊時代も訪れる中、三位一体改革や行財政改革の進展と併行して、介護保険、障害者自立支援、次世代育成支援等、抜本的な施策の見直しが進められるなど、大きな節目にあります。

二〇〇六年の世相を象徴する年の

漢字に「命」が決まりました。

秋篠宮家の長男「悠仁様」誕生で「生れた命」に注目、一方いじめ、自殺や虐待、飲酒運転事故など痛々しい事件が相次ぐなか、「かるく見るなよ命の重さ」、命の尊さ・大切さを改めて認識し考えさせられた一年だったと思います。

折りしも、相互扶助を理念とする、安全で安心して暮らせる快適な地域社会、づくりに対する市民の理解と関心をより一層高めたいと思います。

終わりに市民の皆様にとつて、今年には干支イノシシの年であります。勢いある社会でありますとともに、ご家族の益々のご繁栄をお祈り申し上げます。新年のあいさつと致します。



ひとり金婚式開催



出席者一同、記念写真を撮りました。

戦後復興に拍車がかかりだした昭和三十一年に結婚され、今日まで五十年もの年月を、その苦楽を共にされた伴侶を胸にしまいながら生きてこられた方々への労いと敬意を込めて、十一月十六日（木）、蓬の郷（有明町）において「ひとり金婚式」が

開催されました。祝詞並びに記念品贈呈から始まり、記念撮影、上村環社協会長より主催者あいさつを頂きました。お互いの苦労話や懐かしい昔話等で終始和やかに過ごされました。



和やかな雰囲気にも包まれました。



巖ちゃん一座によるアトラクション

● 募金総額 ● 115,132円

- 松山中学生募金活動 : 30,806円
- 募金箱 : 2,164円
- 水彩画,手芸品,バザー
売上げより : 41,390円
- 建築士会曾於支部より : 22,222円
- 農業共済組合より : 18,550円

多数の善意とご協力、誠にありがとうございました。



**赤い羽根共同募金
街頭募金を行いました。**
「やちく秋の陣まつり」にて十一月十二日（日）、松山町で開催された「大隅の國やちく秋の陣まつり」会場において、松山中学校生二十二名が共同募金活動を行いました。



大いに盛り上がりました。



● 募金総額 ● 八〇、二四三円

● 場 所：市役所前多目的広場

**第十六回共同募金
チャリティゲートボール大会を開催**
スポーツを通じて、楽しみながら共同募金に協力していただくことを目的としまして第十六回共同募金チャリティゲートボール大会を開催しました。この大会は、旧有明町で毎年開催されてきましたが、志布志市においても引き続き開催いたしました。
当日は二十五チーム、百二十五名の方が参加し、一ゲート通過ごと十円以上、上りは百円以上といつとも違ったゲーム方式で楽しんで競技されました。多数の参加とあたたかいご協力に厚く御礼申し上げます。

第1回

志布志市社会福祉大会

十一月二十五日(土)、コミュニティセンター志布志市文化会館において、合併して初めての「志布志市社会福祉大会」が『住みやすい・やさしい・福祉のまちづくりをめざして』を大会テーマに開催されました。



ちりめん太鼓の演奏

オープニングは、志布志市を代表するちりめん太鼓の力強い演奏で幕は上がりました。

大会は主催者を代表し、志布志市社会福祉協議会上村環会長のあいさつ、本田修一志布志市長のあいさつで始まりました。

その後、長年にわたり、地域の福祉向上に貢献されてきた方々や、家庭において介護に尽くされた方の表彰や第一回福祉作文・絵画コンクール表彰式が行われました。来賓として、志布志市議会谷口松生議長、鹿児島県

議会市ヶ谷誠議員の祝辞をいただいたのち、福祉作文最優秀賞、小学校の部・川原康生さん(八野小)と中学校の部・久神鈴穂さん(宇都中)が作文を朗読し、大会に参加された方々は深い感銘を受けていたようでした。

記念講演では、「若さを保つ運動と食生活」と題しまして、創美社会体育研究所丹波美智子所長の講演がありました。会場の方々と一緒にストレッチ体操をされたり、日常の食生活と病気の知識や長寿食などのお話が大変勉強になったことと思います。

福祉関係者が一同に介して、志布志市の福祉の充実と発展を図る為開催したこの社会福祉大会を、盛会のうち閉会いたしました。



講師の丹波美智子さん

被表彰者

(敬称略)

① 民生児童委員として八年以上その職務に従事し、功績が顕著であつて、現に在職している方

- ・田中 保 (志布志町)
- ・大脇 裕子 (志布志町)

② 社会福祉施設の長及び職員並びにホームヘルパー・相談員として十二年以上その職務に従事し、功績が顕著であつて、現に在職している方

- ・稲付 文子 (小松の里介護職員)
- ・山中 恵子 ()
- ・中崎 律子 (小松の里デイサービス職員)
- ・小松 頼子 ()
- ・平田 隆子 (志布志市社会福祉協議会デイサービス職員)

- ・清武多鶴子 (志布志市社会福祉協議会介護支援専門員)
- ・松山 昭子 (志布志市社会福祉協議会訪問介護員)
- ・有村日左子 (志布志市社会福祉協議会訪問給食調理職員)

③ 社会福祉団体等の役員及び職員として、九年以上その職務に従事し、功績が顕著であつて、現に在職している方

④ 五年以上にわたり、寝たきり老人・重度心身障害者(児)等を献身的に介護している方

- ・柳 三男 (志布志町)
- ・豊留キヨ子 (松山町)

- ・立山 茂雄

(有明町 手をつなぐ育成会)



被表彰者代表謝辞 (田中保さん)



表彰式の様子

福祉作文・絵画コンクール入賞者及び入賞校 (敬称略)

福祉作文の部

最優秀賞

| | | | | |
|-------|-------|----|-------|---------------|
| 小学校の部 | 八野小学校 | 3年 | 川原 康生 | 『ぼくの声がとどくまで』 |
| 中学校の部 | 宇都中学校 | 1年 | 久神 鈴穂 | 『お年寄りには優しい道を』 |

学校賞

| | |
|-------|-------|
| 小学校の部 | 八野小学校 |
| 中学校の部 | 宇都中学校 |

福祉絵画の部

最優秀賞

| | | | | |
|-------|-------|----|-------|------------|
| 小学校の部 | 安楽小学校 | 1年 | 峯崎 裕大 | 『おじいちゃんの顔』 |
| 中学校の部 | 宇都中学校 | 1年 | 阿多 夏美 | 『食べてね』 |

学校賞

| | |
|-------|--------|
| 小学校の部 | 尾野見小学校 |
| 中学校の部 | 宇都中学校 |



福祉作文・絵画コンクール



作文朗読 (久神鈴穂さん)

福祉絵画コンクール

最優秀賞作品紹介



「食べてね」

福祉絵画コンクール 中学校の部
最優秀賞 宇都中学校 1年
阿多 夏美



「おじいちゃんの顔」

福祉絵画コンクール 小学校の部
最優秀賞 安楽小学校 1年
峯崎 裕大



福祉作文コンクール 最優秀賞作品紹介

最優秀賞

小学校の部

ぼくの声がとどくまで



八野小学校 三年

川原 康生

「じいちゃん。こうきだよ。」

「おお、来たか。元気じゃった

かよ。」

遊びに行くと、いつも、にっこ

りわらって出むかえてくれた。

ぼくのひいじいちゃんは、今年

で九十二才になる。ぼくが生ま

れるずっと前に、おばあちゃん

をなくし、せんたく、そうじ、

料理など、一人でなんでもこな

す元気なじいちゃんだ。わかい

ころは、野さいの作り方を教え

る仕事をしていたので、今でも

畑には、たくさんの野さいを作

っている。遊びに行つて、エン

ドウマメやトマトをじいちゃん

といっしょに、とっている時の

ことだ。

「じいちゃん、ぼくも学校でト

マトを作っているんだよ。」

と言うと、

「トマトはね、水をきらうから、

かさをさして、雨をよけっや

つと、よかトマトがでくっ

ど。」

と教えてくれた。じいちゃんの

畑のトマトを見ると、真っ赤に

うれていて、ルビーのようにピ

カピカと光っている。やっぱり、じいちゃんは、野さい作りの名人だ。

じいちゃんには、もう一つとく意わぎがある。それは、グラウンドゴルフだ。八十才のころ、九しゅう大会でゆうしょうして、全国大会に出場したそうさ。その時のことを、いつもうれしうに話してくれた。ぼくも、学校でやってみたけど、力を入れたり、ぬいたりするのがむずかしくて、なかなか思うように転がらなかつた。それなのに、じいちゃんは、全国大会にまで行って、すごいなあと思った。

そんな、いつも元気で、なんでもできるぼくの大すきなじいちゃんがるう人せいちほうしようになり、一人では生活するところがむずかしくなつたので、ろう人ふくししせつに入らなければならなくなつた。そこでは、大すきな野さい作りも、グラウンドゴルフもできないので、か

わいそうだけど、仕方がない。

夏休みに入り、母といっしょに、じいちゃんのお見まいに行くことになった。あり明に向かう車の中では、ひさしぶりにじいちゃんに会えるうれしきで、ぼくは、うきうきして今にもとび出しそうだった。しせつにつくと、ちようど、この日は、しせつのおまつりの日で、じいちゃんは、手をたたきながら、うれしそうにおどりをしている所だった。

「じい・・・。」

ぼくが、大声でよぼうとしたら、母が口をふさいだ。ぼくたちの顔を見ると、じいちゃんが家に帰りたくなつてしまうから、はなれた所でこっそり見るだけだと言われた。ぼくは、がっかりしたけど、心の中で、じいちゃんこうきだよ。ときけんだ。いつか、おなかのそこから、「じいちゃん、こうきだよ。」と言う、ぼくの声がとどく日が、きつと、きますように。

お年寄りには優しい道を



宇都中学校 一年
久神 鈴穂

「あそこのイスにすわって休ましよう。」と、父が言う。みんなが賛成し、汗をふきながら休けい所をめざす。右、左、右、左：近くて遠いイス。屋台の何気ないコードがじゃまをする。通路まではみだしている荷物がじゃまをする。私にとって、一分で行ける道はおじちゃんにとって、五分の道だ。おじちゃんは汗びっしょりだ。

（早くして！早く休みたいよ。）
という私のわがままな気持ちは、いつしか（大変だな。）という気持ちに変わった。自然と手をおして、手をつなぐ。弟は背中をおしている。みんなで五分か

けて休けい所まで歩いた。この夏休み、福岡まで行く機会があった。私の祖父母と、家族。そして、祖父の兄「としおじちゃん」と一緒に。おじちゃんは、「知的障害」を持っている。じんぞうも少し悪く七十八才という高齢だ。ふだんは家と畑にいてだけで一年に数回しか出かける。だから見たこともないぐらい、はしゃいでいた。祖父もうれしそう、私も温かい気持ちになっっておじちゃんと行動する事が多くなっていた。すると、今まで気付かない事に気づきはじめた。（何て歩きにくいんだろう。）ズズツ、ズズツ：と、す

るように歩くおじちゃんには、コード一本、二センチメートルほどの段差一つまたぐ事は難しい。だけど、高速道路のパーキングエリアのトイレまでは、コード、段差、荷物、そして商品までもが道にあふれていた。私にとって、何でも無い事がお年寄りや、体の不自由な人にとっては、大変なことなのだ。おじちゃんと数日過ごした事で、私は自分の目線が少し変わったと思う。町のお年寄りを見ても、おじちゃんの姿と重なる。そしてその目でまわりを見ると、点字ブロックの上の自転車や、障害者用の駐車場に平気でどめてある一般車が見えてくる。「バリアフリー」や、「福祉」がさげばれて、町もだいぶよくなってきたと思う。が、一番大切なのは、「福祉を必要としている人と同じ立場で物を見て考える」という事だと思ふ。点字ブロックや、手すり、木影のベンチなど、福祉の形が人の心で生かされる世の中にして、世界中の障害者の方々を、

「私は、幸せだな。」
と、思わせる世の中にしていきたいと思ふ。
障害者の方を直接助けるのは、かんたんなんだ。でも、としおじちゃんは、車イスがあっても乗らず、自分の足で歩く。だから私は、体の不自由な人が、がんばって自分の力で暮らしていきけるように、過ごしやすい環境を作っていきたい。



NPO法人三方良を 紹介します。

NPO法人三方良（脇岡良平代表
とは近江商人の「売り手よし、買い手
よし、世間よし」という教えからなら
つて、「公よし、民よし、社会よし」の
三方よしという考えから起ったNP
O法人です。

昨年十月に県から認証を受けて、
アピアの二階に事務所を設けました
会員は二十代〜六十代で現在四十名
程で組織しております。

●設立目的

- ① 大隅半島のより良いまちづくり
を目指す事業
- ② 志布志湾を活用した国内外交
易、貿易に関する事業
- ③ 小規模事業者の育成、調査、研
究事業
- ④ 志布志湾を利用したイベントの
支援事業
- ⑤ 自然災害における救援活動事業
- ⑥ 地域内における環境を守り、育
成する事業

昨年認証を受けたばかりですので、
初年度は調査・研究が活動の中心にな
りますが、昨年は国土交通省のご協
力をいただき、志布志湾、枇榔島の実
態調査を行いました。

また、県の港湾事務所の所長をお招
きし、志布志湾の現状と課題について

講演会を開催。六月にはふれあい市長
室を利用して志布志市長との懇談会
を開催。九月の曾於地区合同防災訓練
では、救援物資を確保、搬送するとい
う役割で訓練に参加。またサンフラ
ワー乗り場近くの公園が清掃されてい
ないということで、草払いとゴミ拾い
を二回行いました。

また、志布志市がゴミゼロのまちを
目指すということで、二つほど提案し、
プレゼンテーションを行いました。そ
して、大崎町長との懇談会を開催。十
二月には志布志湾岸道路クリーン作
戦を開催し、色々な方々のご協力をい
ただきました。誠にありがとうございました。

最後に私どもNPO法人三方良は
出来たばかりの組織ではありますが、
志布志市、大隅半島のより良い未来に
貢献できるよう邁進して参りますので、
今後ともよろしくお願いいたします。



三方良会員の皆様

このコーナーでは、高齢者福祉給食サービスの福永栄
養士が誰にでも簡単にできる料理を紹介します。

今回の料理

【からいもサラダ】



かんたんレシピ！

材料（4人分） ※1人当たり 182kcal

- ・さつまいも（200g）
- ・きゅうり（60g）
- ・人参（20g）
- ・ツナ缶（40g）
- ・干しぶどう（20g）
- ・塩（少々）
- ・マヨネーズ（30g）

作り方

- ① さつまいもは皮をむいて1 cm 位の輪切りにし
てゆでる。
- ② ①がゆであがったら、水気を切りつぶす。
- ③ きゅうりは半月切りにして塩もみする。
- ④ 人参は千切りにしてさっとお湯にくぐらせ
る。
- ⑤ ②にきゅうり、人参、干しぶどうを入れてマ
ヨネーズを混ぜて味を整える。

※この料理は、さつまいもだけでなく、かぼちゃ・じゃ
が芋と変えてもおいしく食べられます。

続けることが

大切です！

貯めて元気！貯筋

腰の疲れをとりましょう

「ねらいと効き目」

腰の疲れは、じっとしていても回復しません。軽く動かすことによって、筋肉が伸び縮みし、血行がよくなり疲労が取り除かれるのです。

- ①両足を肩幅に開き、両手を腰にそえて立ちましょ。
- ②はじめは、腰を前後・左右にゆつくり動かしてみましょ。
- ③次に、腰で円を描くように回します。
- ④右回り、左回り交互にゆつくり5回ずつくり返します。



《注意》
④は5回ずつくり返す。

たてのカギ

- 2 7月7日。
- 4 夜更かしすると目の下にできる動物…。
- 5 目〇〇〇をたてる。又は時々、噴水のような潮を吹きます。
- 6 かわいい子供には〇〇をさせなさい。
- 7 コレの握力はなんと1トン以上あるんです。
- 9 調味料。メーカーの〇〇〇〇〇。
- 11 コレにこだわらず生きていこう！
- 12 家族ってこういう存在？
- 13 西武の松坂、メジャーおめでとさん！
- 15 コレを通すと水はキレイになるよ。
- 17 〇〇の木。
- 19 〇〇〇発射。あわてずに。

よこのカギ

- 1 家に帰ること。
- 3 怖い話しによくでできます。
- 6 短い語句。またはダンスジャンルの1つ。
- 8 で〜っかい口が特徴的な動物。
- 9 この季節、味噌汁にしたらおいしい魚。
- 10 サマーそして年末、千歳一遇のアタックチャ〜ンス。
- 14 あっかんべ〜！〇〇を出すな〜。
- 16 慎重派はコレをたたいて渡るよね。
- 17 不安でしょうがないさま。〇〇〇〇する。
- 18 「オレオレ、事故おこしたから100万すぐ振り込んでくれ！」なんて話しすぐ〇〇〇〇にしたら危険です。
- 20 一番最後。〇〇をつとめる。

問題

上記のたて・よこのカギをヒントにマスを全部うめ、家で受ける介護サービスのことを「きょたくかいご」と言いますが、1~20に入る文字の中から、この7文字の中で1文字だけ当てはまらないものがあります。その1文字とは何でしょうか？

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 4 | | 6 | | 7 |
| | 3 | | 5 | | | |
| 8 | | | | | 9 | |
| | 10 | 11 | | 12 | | |
| 13 | | | | 18 | | 19 |
| 14 | 15 | | 17 | | | |
| 16 | | | | | 20 | |

○前回の答え：ろ

応募方法は…

クイズの答えと住所・氏名・年齢をハガキにご記入の上、志布志市社会福祉協議会「クイズふれあい」係までご応募下さい。抽選で5名の方に賞品（図書カード）をプレゼント致します。なお、抽選結果は賞品の発送をもってかえさせていただきます。締め切りは平成19年2月16日（金）の消印有効です。

どしどしご応募下さい。

心配ごとがありましたら…

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、お越し下さい。なお、相談料は頂きません。

志布志本所

(志布志市健康ふれあいプラザ)
相談日は毎週水曜日

【※3月第4週は20日（火）】

松山支所

(志布志市老人福祉センター)
相談日は第1、3火曜日

有明支所

(志布志市市民センター)
相談日は毎月5日・20日

受付時間 10:00~15:00

～ボランティアセンター便り～

松山地区 から

～ボランティア体験学習 ～ 泰野小学校 ～

十二月八日（金）、松山町の泰野小学校三・四・六年生がそれぞれバリアフリー体験をしました。

三年生十三名は、アイマスクで視界を閉ざし、白杖を使って歩行してみる体験をしました。二く三歩歩いてはアイマスクをずらし覗き見る児童たち。今、見えていることの素晴らしさを知り目の不自由な方の気持ちを考えることを学習しました。四年生十四名は、車イス体験をしました。車イスに乗り、外出しようとする児童たちは、出入口の段差と扉の幅の狭さで立ち往生していました。



3・4年生体験風景

普段、歩いたり走ったりしていても気付かない小さな段差や気にもしていなかった緩やかな坂道など、実際に車イスに乗り、体験してみても初めて気付くことがあることを学習しました。

六年生十九名は、動きを制限する器具（もみじ箱）を使って、高齢者擬似体験をしました。腰が曲がったままで歩く辛さや、視界が狭く物が見えにくいつらさ。おもわず立ち止まって腰をトントンと叩く児童も。体が重く思うように動けない高齢者の立場を学習しました。



高齢者擬似体験中の6年生

各学年それぞれ違う体験でしたが、小さな発見が大きな発見につながり福祉への関心も深まっていくのではないのでしょうか。

まず、身をもって体験してみる事。一つでも発見できれば、それは宝物。優しい心の気付きは何よりの宝物。

有明地区 から

ほっぺた落ちそう！ ～ 野神サロン ～

野神校区高齢者ふれあいサロンでは、ボランティアと参加者がいっしょに団子作りをしました。ボランティアなかよし野神校区会長樽口キクエさんの指導のもと、普段料理をしたことのない男性の方も顔まで白くしながら一生懸命団子をもんでいました。



個性あふれる団子が出来ました！

個性あふれる団子が出来上がりみんなて試食会。形は違えども味は最高！みんなのほっぺがほころびます。



ほっぺが
ほころびます！

まじまじお届けします！ ～ 絵手紙 ～

ボランティアグループなかよし（春田良子会長）では、町内に子供の居ない一人暮らし高齢者にお正月に心のこもった絵手紙年賀状を送ろうと十一月十七日市民センターで、末吉町の河合泰先生にご指導いただき、絵手紙にトライしました。先生によると、絵は下手なほど個性が出て味があるとのこと。時間内に描き終わらず持ち帰り、仕上げをされる方も。出来上がった絵手紙は、個性あふれる作品ばかり！



思いを込めて
書いた絵手紙が
出来上がりました！

受け取った方も絵手紙を見てあたたかい気持ちで新年を迎えられたのではないのでしょうか。



輪多市 私 のボランティア

志布志地区
から

朗読ボランティア
『鈴(りん)』始動!

『鈴』と書いて『りん』と命名された朗読ボランティアが活動を始めました。代表者 福岡セツ子さんをはじめ、十三名のボランティア会員で構成しています。主婦をはじめ、さまざまな職業の方々に、皆さん忙しい時間をさいて頑張っています。



録音の様子

一本のテープが出来上がるまでに何度も集まり、打ち合わせをしてきました。第一回目の録音には初めての方が多く、戸惑いと緊張のなかでの録音となりました。テープを聞いてくださる方に良く分かるように、読むスピードや発音に気をつけて録音をしました。また、話題ごとに担当を代えて朗読した

り、方言を取り入れて朗読してみると楽しいテープが出来ました。早速出来上がったテープをサービス利用者にお届けしました。



「テープをお届けに来ました!」

「今回のテープが届くのを楽しみに待っています。」とうれしい言葉をいただき、『鈴(りん)』の会員の皆さんもとても張り切っておられました。

ごあいさつ



朗読ボランティア
会長 鈴、福岡セツ子

明けましておめでとうございます。朗読ボランティア『鈴』は昨年秋発足し市報十一月十二月号の朗読テープを希望者の方(十名)にお届けすることができました。今年も会員一同力を合わせ、ささえあいの真心で活動して参ります。テープご希望の方、どうぞご利用下さいませ。

●連絡先 志布志市社会福祉協議会
電話 472-1800

年の瀬の贈り物

手作りお寿司
志布志地区

志布志町婦人連絡協議会の会員三十名の方々が、ちらし寿司を作り、志布志地区の八十歳以上のひとり暮らし高齢者や寝たきりの方など三九三名へお届けしました。



「どうぞ、お召し上がり下さい。」

訪問先では、「今年もありがとなあ」などの声とともに喜びの表情がみられ、会員の皆さんも喜んでいました。

手打ちそば作り
松山・有明地区

ひとり暮らしまたは町内に身寄りのいない高齢者の方々に、元気に新年を迎えて頂こうと志布志市老人福祉センター(松山町)と有明農村研修センター

(有明町)で「年越しそば」としての手打ちそば作りがありました。

そば作り前日に、ボランティアさんなどで「ダシ汁」を作り上げ、当日、松山町では、中学生を含む総勢四十七名のボランティアさんが対象者の百四十五食分を、有明町では、民生委員・ボランティアなかよし会員・社協職員等総勢三十七名が対象者の二六三食分を作り上げました。



～松山地区～



～有明地区～



出来上がった「そば」に薬味とダシ汁、有明町では志布志酪農協同組合様から寄贈して頂いた牛乳を添えてお届けしました。そばを受け取られた方々は心から喜ばれていました。大勢のボランティアさんのまごころのこもった「手打ちそば」に勝る「年越しそば」は無かったのではないのでしょうか。

※輪多市とは「多くのボランティアの輪を志布志市に広めましょう」の意味です。

皆様の善意に感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお札にかえて市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。頂きましたご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。

平成十八年十一月一日から平成十八年十二月三十一日まで
集落名 寄附者名 物故者名 (敬称略)

松山支所受付分

| | | |
|------|-------|-------|
| 中豊留 | 福水ミエ | 故留蔵 |
| 京ノ峯 | 検崎ノブ | 故次雄 |
| 内之野 | 田中輝子 | 故愈 |
| わらびの | 有野スミ子 | 故秀夫 |
| 今別府 | 池野アサエ | 故和丸 |
| 駅通り | 福永文子 | 故清 |
| 道重 | 尾上則子 | 故広瀬一夫 |
| 橋ノ口 | 川原 司 | 故カスカ |
| 昭和台 | 柿元栄治 | 故ミツル |
| 芝用 | 石田信義 | 故シカ |
| 外之牧 | 外牧武博 | 故クミ子 |
| 山久保 | 井久保康徳 | 故ヨシエ |

有明支所受付分

| | | |
|------|-------|------|
| 東大久保 | 池畑和夫 | 故キサノ |
| 下宇都 | 秋山俊和 | 故茂美 |
| 押切東 | 林 福子 | 故善弥 |
| 東原西 | 風留正昭 | 故カツエ |
| 田淵 | 迫留羊一 | 故マスノ |
| 室太郎 | 室水ヒロエ | 故元義 |
| 野吉 | 山元義顕 | 故キン |
| 蓬原団地 | 牧山里美 | 故佳覚 |

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。

地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

(敬称略)

松山支所受付分

・志布志市商工会女性部
志布志本所受付分

安楽小昭和十五年卒同窓会
森重アヤ子
(有) 肉質研究牧場

有明支所受付分

曾於農業共済組合 南部支所
志布志市ゴルフ協会
匿名一件

評議員の選任についてお知らせします

※敬称略

| 選出区分 | 新 | 旧 |
|------------------------------|--------|-------|
| 教職関係 学校関係 社会教育 教育関係 | 野村 美喜男 | 中島 新互 |

生活福祉資金貸付事業について

貸付資金の種類

- 更生資金
- 住宅資金
- 療養、介護資金
- 災害救護資金
- 緊急小口資金
- 長期生活支援資金
- 離職者支援資金

貸付対象者

- 低所得世帯
- 高齢者世帯(常時介護必要な六十歳以上高齢者が属する世帯)
- 障害者世帯

連帯借受人の条件

- 連帯して債務を負担する能力(所得)が求められます。
- ※借受人によっては連帯借受人を立てる必要があります。

連帯保証人の条件

- 二十五歳以上六十五歳未満で、原則一名県内に居住し借受人世帯の生活に熱意が有り市町村民税が課税され借受人より所得が上回る方。
- ※借受人同様の債務返済義務が生じます。借受人が支払わない場合は債権の支払い責任は同様に連帯保証人に求められます。

連帯保証人としてふさわしくない方

- 更生委員
 - 社会福祉協議会職員
 - 生活福祉資金の借受人
- お問い合わせは、社会福祉協議会まで

編集後記



「2007年初日の出です。」
～志布志港より撮影～

志布志市社会福祉協議会が発足しまして、一年が経過いたしました。私にとつて、今までで最も短い一年に感じました。季節も冬というところで、風邪を引きやすい時期です。毎日のうがい・手洗いを欠かさないようにならねばなりません。また、本誌九ページの「健康の泉」も参考にしていただければ幸いです。

今年も、皆様へ福祉情報の発信源として、有意義な情報を広く伝えていくために、『ささえあい』を発行していきます。

(山)